

2019年10月1日

報道関係各位

Bike Life Lab supported by バイク王
(旧称: バイク王 バイクライフ研究所)

Bike Life Lab supported by バイク王 『リセール・プライス』ランキングを発表 『ヤマハ・SR400』が首位獲得!

対象期間 2019年6月~8月

バイクライフを楽しく、豊かにする情報を広く社会に発信することを目的に活動を行う『Bike Life Lab supported by バイク王』(旧称: バイク王 バイクライフ研究所、所在地: 東京都港区、運営: 株式会社バイク王&カンパニー)は、2019年6月~8月の期間を対象に、『再び売却した際、高値の付くバイク』=『“リセール・プライス”の高いバイク』上位10車種を発表します。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。30回目となる今回は「ヤマハ・SR400」が首位に輝きました。

◇『ヤマハ・SR400』が
復活後初の首位獲得!

◇ホンダ・CRF450L が初ランクイン

◇中型二輪クラスが高値傾向



◇佐川健太郎氏 インプレッションムービー公開中

『リセール・プライス』ランキングにて、上位10車種にランクインしたモデルを始め、複数の人気車種をモーターサイクルジャーナリストの佐川健太郎氏にインプレッションしていただきました。詳しくは URL (<https://www.8190.jp/bikelifelab/movie/shijou/>) をご覧ください。

※本プレスリリースに関する画像が必要な際は下記連絡先までご一報ください。

プレスリリースに関するお問い合わせ先

■株式会社バイク王&カンパニー

Bike Life Lab (バイクライフラボ)

担当: 菊田、萩原

TEL 03-6803-8866

E-mail bikelife_lab@8190.co.jp

東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 13F

■株式会社スクランブル

プランニング局

担当: 高島、小野

TEL 03-6894-6895 / FAX 03-5413-3050

E-mail bike-o@scramble.jp

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

■ 総合ランキング

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ヤマハ・SR400	86.0Pt
2	カワサキ・Z900RS	85.0Pt
3	ホンダ・Gold Wing Tour DCT	82.5Pt
3	ホンダ・CB400 SUPER FOUR ABS	82.5Pt
5	カワサキ・Ninja 400	81.4Pt
6	カワサキ・Z1000	81.3Pt
7	ホンダ・CRF450L	81.2Pt
8	カワサキ・Z900RS CAFE	80.6Pt
9	カワサキ・Ninja 250	79.7Pt
10	ホンダ・スーパーカブ 110	78.6Pt

◇対象期間 2019年6月～8月

30回目となる『リセール・プライス』ランキングは、『ヤマハ・SR400』が2位に1.0pt差を付け首位に輝きました。

ヤマハ・SR400は、1978年に発売され、40年以上の歴史を持つロングセラーモデルです。心地よい鼓動を生み出す空冷399ccのビッグシングルエンジンやキックスターのみの始動方式、シンプルかつ美しいスタイリングなど、現代において他のモデルとは一線を画す個性を纏います。「二輪車平成28年排出ガス規制」により2017年をもって一旦は生産終了となりましたが、O₂フィードバック制御の精度向上やキャニスターの採用等により、2018年11月に復活を果たしました。今回ランクインしたのは復活後のモデルで、発売から約1年が経過し、当ランキングが規定する流通台数に達したものの、少ない台数しか流通していないことによる高値傾向であると推察されます。

また、今回のランキングでは、ホンダ・CRF450Lが初登場7位にランクインしました。当モデルはモトクロス競技専用車「CRF450R」をベースに2018年に発売された本格オフロードモデルです。パワーユニットは低回転から粘り強い出力特性に変更され、専用セッティングの前後サスペンションの装備、すべての灯火類に軽量コンパクトなLEDを採用するなど、舗装路・未舗装路問わず優れた走破性を発揮します。ランクインの要因として、市場の流通台数が比較的少ないことによる高値傾向であると考えられます。

秋のツーリングシーズンを迎えた中、今後のランキングにどのような変化をもたらすのか、引き続き『リセール・プライス』ランキングにご注目ください。

■ 排気量別ランキング上位5位

・原付一種・二種

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・スーパーカブ 110	78.6Pt
2	ホンダ・クロスカブ 110	76.3Pt
3	ホンダ・スーパーカブ C125	75.2Pt
4	ホンダ・モンキー125	74.8Pt
5	ホンダ・PCX HYBRID	74.2Pt

・軽二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Ninja 250	79.7Pt
2	ホンダ・レブル 250	78.1Pt
3	ヤマハ・セロー250	77.3Pt
4	ホンダ・PCX150 ABS	76.3Pt
5	ホンダ・レブル 250 ABS	75.8Pt

・中型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ヤマハ・SR400	86.0Pt
2	ホンダ・CB400 SUPER FOUR ABS	82.5Pt
3	カワサキ・Ninja 400	81.4Pt
4	ホンダ・CBR400R ABS	75.8Pt
5	ホンダ・400X ABS	72.4Pt

・大型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Z900RS	85.0Pt
2	ホンダ・Gold Wing Tour DCT	82.5Pt
3	カワサキ・Z1000	81.3Pt
4	ホンダ・CRF450L	81.2Pt
5	カワサキ・Z900RS CAFE	80.6Pt

■『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときの価格(=プライス)を指します。

2019年10月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基に『リセール・プライス』をポイント化。ポイント数が高いほど、『リセール・プライス』が高いと想定できます。

本指標は、年間約11万台の取り扱い台数を誇る『バイク王』のデータを基に、Bike Life Labが独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

■算定基準

- ・国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2019年10月現在・逆輸入車を除く)
- ・新車販売価格は2019年10月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定
- ・モデルチェンジが実施された場合は、最新モデルのみを対象とする
- ・期間内に、Bike Life Lab独自の規定台数に達する流通があるバイクを対象とする

【Bike Life Lab supported by バイク王について】

バイク王 バイクライフ研究所は、『バイクライフの生涯パートナー』をビジョンに掲げる株式会社バイク王&カンパニーが、バイクライフの楽しさやバイク市場の動向などを広く社会に発信することを目的に、2011年8月に発足した情報発信組織であり、2017年3月からは「Bike Life Lab (バイクライフラボ)」というバイクコンテンツサイトを運営しております。

この2月より、ライダーにとってより身近で、より強固なエンゲージメントを持った情報発信組織に成長していくために、「バイク王 バイクライフ研究所」を「Bike Life Lab supported by バイク王」に名称変更し、併せてバイクコンテンツサイト名も「Bike Life Lab supported by バイク王」に統合しました。

Bike Life Lab supported by バイク王は、バイクライフを楽しく、豊かにする情報を広く社会に発信していくことで、バイク業界の活性化に寄与していきたいと考えています。

Enjoy Life with Bike

バイクがあれば もっと楽しい

Bike Life Lab
supported by **BIKE 王**